



質問表題の右横にある2次元コードを読み取ると、それぞれの議員の一般質問の様子を全てご覧いただけます。
また、定例会の正式な会議録は、市政情報コーナーや各市立図書館、市議会ホームページ、議会事務局などで12月下旬からご覧いただくことができます。



ファミリー・サポート・センター事業並びにママヘルプ事業について



公明党 高橋 えみ

議員 まかせて会員の報酬額の推移や現在検討している内容について伺います。

福祉こども部長 まかせて会員の報酬は、平成30年の6月より、基本時間の単価を700円から800円に増額するとともに、利用者の負担軽減を図るため、利用料金800円のうち300円を市で助成することとしました。また、現在は送迎に関する報酬の導入について検討を行っています。

議員 ファミリー・サポート・センターの事務所移転の経緯と、現在の開設場所について伺います。

福祉こども部長 令和3年度にコロナワクチンの集団接種会場として、新田庁舎を使用することとなり、移転が必要となりました。複数の候補地がありましたが、所在地や建物の状況から、現在の旧太田東小放課後児童クラブの施設に決定しました。

議員 ニーズの高い事業であり、まかせて会員に対し、報酬の増額など市

としての応援が必要と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 まかせて会員の報酬は最低賃金を考慮する必要があると思いますので、今後1,000円をベースに協議を進めていきたいと思っています。



議員 現在の事務所は大変狭く、適切な開設場所が必要と考えますが、所見を伺います。

市長 太田行政センターの東別館の利活用など検討しながら、将来的にはプレハブを建てるなど、次のステップも考えられるのではないかと思います。



本市の公園整備について



太田クラブ 町田 正行

議員 本市には野球場などスポーツ施設のある屋外施設がいくつあるか伺います。

文化スポーツ部長 スポーツ施設のある屋外施設は21カ所あります。

議員 屋外施設21カ所のうち、子どもが遊べる遊具のある施設はいくつあるか伺います。

文化スポーツ部長 子どもが遊べる遊具のある施設は、太田市運動公園、綿打・生品の両コミュニティ運動公園、藪塚本町中央運動公園、西部ふるさと公園の5カ所です。

議員 遊具がある施設が少なく、子どもたちの遊び場の確保という意味でも遊具の設置が有効と考えますが、今後のスポーツ施設などへの遊具の設置について伺います。

文化スポーツ部長 現状では、既存施設の遊具の老朽化に応じて、必要性を検討していきたいと考えています。

議員 本市の公園遊具について、

2、3時間遊べるような遊具が行政区に1カ所ずつ設置されればと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 エアリス周辺に誰もが分け隔てなく遊べるインクルーシブ公園、備前島町には野球場と子どもたちの遊べるスペースを作りたいと計画しています。また、藪塚地区中央部にも遊具を設置した新たな公園を作り、子どもたちが楽しめる環境づくりをしていきたいと考えています。



■その他の質問
・本市の農業政策について



妊娠・出産から育児まで切れ目のない子ども支援事業について



太田クラブ 白石 さと子

議員 産後ケア事業の目的と形態について伺います。

福祉こども部長 出産後1年以内の母子などに対し、安心して子育てができる支援体制を確保し、身体的回復および心理的な安定を図ることを目的としており、デイサービス型、ショートステイ型、アウトリーチ型の3つの形態があります。

議員 本市では、アウトリーチ型の訪問支援には対応していませんが、自ら出向くことが困難な人のために、アウトリーチ型の訪問支援を導入することについて、所見を伺います。

福祉こども部長 今後研究していきたいと考えます。

議員 産後ケア事業について、アウトリーチ型の導入も視野に入れ、検討していくべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 地区担当の保健師が訪問し、相談を受けることが大切だと考えますが、アウトリーチ型を必要とする人が

どの程度いるのか、まずは調査をしていきたいと考えます。

議員 緊急時に電話1本で支援が受けられるような、SOSサービスの導入について、所見を伺います。

市長 急な用事で預け先がない時や、ストレスがたまってリフレッシュしたい時に、短時間子どもを預けられるようなサービスの導入を考えており、新年度からの実施に向けて、現在研究を行っています。



■その他の質問
・都市計画道路整備事業の現状と今後について



本市における農業・農家・農地を守る取り組みについて



市民ファーストの会 神谷 大輔

議員 本市における過去3年間の遊休農地面積の推移を伺います。

農政部長 令和3年度54.1㍔、4年度61.5㍔、5年度95.5㍔、です。

議員 遊休農地増加の主な原因について伺います。

農政部長 農業従事者の高齢化や体調不良、相続により農業経験のない人が農地を所有していることなどが挙げられます。

議員 農業を守る取り組みとして策定を進めている地域計画の概要と進捗状況について伺います。

農政部長 地域での話し合いをもとに、地域の農業を持続させるための方針を定め、農地一筆ごとの10年後の耕作者を決め、目標地図に位置付けていく計画です。市内を13地区に分け、各地区で2回ずつ座談会を開催する予定であり、すでに9地区で開催済み、2地区で1回目終了しています。

議員 座談会の中で農業者から出

された意見の集約と、活用のための体制づくりについて、市長の所見を伺います。

市長 地域計画は、国が今後の農業の方針を決定するための資料となるものであり、遊休農地の対策など最終的には国が検討していく課題ですが、地域の農業者からさまざまな意見が出てきますので、十分に把握し、対応していきたいと考えます。



■その他の質問
・地方自治体としての本市における監査とその果たすべき機能について